

2021 年度入学生の方々に、入学までに読むことをオススメする(法学部)

推薦図書リスト

○法学政治学に触れてみよう○

1. 『はじめての法律学 H と J の物語(第 5 版)』松井茂記ほか、有斐閣アルマ、2017 年
2. 『新版 わたしたちと裁判』後藤昭、岩波新書(岩波ジュニア新書)、2006 年
3. 『法服の王国(上・下)』黒木亮、産経新聞出版、2013 年
4. 『憲法とは何か』長谷部恭男、岩波新書、2006 年
5. 『憲法主義:条文には書かれていない本質』内山奈月 (AKB48)・南野森、PHP 研究所、2014 年
6. 『憲法の良識』長谷部恭男、朝日新聞出版、2018 年
7. 『文明史のなかの明治憲法』瀧井一博、講談社、2003 年
8. 『世界史の中の日本国憲法』佐藤幸治、左右社、2015 年
9. 『入門公共政策学』秋吉貴雄、中公新書、2017 年
10. 『犯罪と刑罰』ベッカリア(小谷眞男訳)、東大出版会、2011 年
11. 『虚偽白を読み解く』浜田寿美男、岩波新書、2018 年
12. 『累犯障害者』山本譲司、新潮文庫、2009 年
13. 『民法の基礎から学ぶ 民法改正』山本敬三、岩波書店、2017 年
14. 『労働法はぼくらの味方!』笹山尚人、岩波ジュニア新書、2009 年
15. 『同性婚 私たち弁護士夫婦です』南和行、祥伝社新書、2015 年
16. 『違和感から始まる社会学』好井裕明、光文社新書、2014 年
17. 『民主主義の条件』砂原庸介、東洋経済新報社、2015 年
18. 『民主主義という不思議な仕組み』佐々木毅、ちくまプリマー新書、2007 年
19. 『政治的思考』杉田敦、岩波新書、2013 年
20. 『国際政治とは何か—地球社会における人間と秩序』中西寛、中公新書、2003 年
21. 『生きづらい明治社会—不安と競争の時代』松沢裕作、岩波ジュニア新書、2018 年
22. 『戦後政治史 第三版』石川真澄・山口二郎、岩波新書、2010 年
23. 『現代日本の政党デモクラシー』中北浩爾、岩波新書、2012 年
24. 『保守主義とは何か—反フランス革命から現代日本まで』宇野重規、中公新書、2016 年
25. 『ポピュリズムとは何か—民主主義の敵か、改革の希望か』水島治郎、中公新書、2016 年
26. 『動物農場』G・オーウェル、角川文庫、1977 年
27. 『教誨師』堀川恵子、講談社、2014 年
28. 『図書館戦争(シリーズ)』有川浩、角川文庫、2011 年
29. 『半沢直樹 1 オレたちバブル入行組』(ほか、半沢直樹シリーズ)池井戸潤、講談社文庫、2019 年
30. 『ソロモンの偽証』宮部みゆき、新潮文庫、2014 年

○大学生としての考え方・生き方○

1. 『これからの「正義」の話しよう』M.J.サンデル、ハヤカワノンフィクション文庫、2011 年
2. 『生き方の不平等—お互いさまの社会に向けて』白波瀬佐和子、岩波新書、2010 年
3. 『生活保護から考える』稲葉剛、岩波新書、2013 年
4. 『就活難民にならないための大学生活 30 のルール』常見陽平、主婦の友社、2010 年
5. 『君たちはどう生きるか』吉野源三郎、岩波文庫、1982 年
6. 『権利のための闘争』イエーリング、岩波文庫、1982 年
7. 『新訂 福翁自伝』福沢諭吉、岩波文庫、1978 年
8. 『仕事としての学問 仕事としての政治』M・ウェーバー(野口雅弘訳)、講談社学術文庫、2018 年
9. 『大人のための社会科—未来を語るために』井手英策ほか、有斐閣、2017 年
10. 『薬物依存症』松本俊彦、ちくま新書、2018 年
11. 『歴史とは何か』E. H. カー、岩波新書、1962 年
12. 『これを知らずに働けますか?』竹信三恵子、ちくまプリマ新書、2017 年
13. 『東大卒貧困ワーカー』中沢彰吾、新潮新書、2017 年